

タイトル (40 字)

目からウロコ！マイボーム腺機能不全診療講座 Update

英文タイトル (80 字)

Meibomian gland dysfunction Update

ショートタイトル (15 字)

MGD の診療 Update

発表順

有田玲子 (伊藤医院、LIME 研究会)、福岡詩麻 (大宮はまだ眼科西口分院、LIME 研究会)、川島素子 (慶應大、LIME 研究会)、白川理香 (東京大、LIME 研究会)、高静花 (大阪大、LIME 研究会)、溝口尚則 (溝口眼科、LIME 研究会)

抄録 (600 字)

Lid and Meibomian Gland Working Group (LIME 研究会) は 2012 年に発足し、マイボーム腺関連疾患、特にマイボーム腺機能不全 (以下 MGD) の重要性について啓蒙活動が続けてきた。2013 年に最初のインストラクションコースを行ったとき、MGD について“患者数が多いが、特効薬のない疾患”と紹介していた。その後、MGD はドライアイの主因 (ドライアイ全体の約 86%) として国際的に注目度が高まり、多くの基礎研究、臨床研究が進み、エビデンスのある治療法が次々と開発されてきた。今回のコースでは、MGD の診断と治療の基礎から最先端まで世界各国からのエビデンスをベースに、実際の症例を提示しながらわかりやすく解説する。具体的には、

1. MGD の診断のコツ

スリットランプによる眼瞼縁観察・マイボーム腺脂の質と量の観察

マイボグラフィによる形態観察

インターフェロメトリーによる油層の質・量の評価

2. MGD の治療戦略

マイボケア (温罨法、眼瞼清拭)

マイボーム腺脂の圧出

点眼薬 (特にアジスロマイシン点眼処方のコツ)、内服薬、患者さんへお勧めする食事やサプリメント

最先端の治療機器 (Thermal pulsation system、Intense Pulsed Light)

を予定している。本コースの目標は、“治療法のある疾患・MGD”を的確に診断し、重症度や患者の要望に合わせて治療法を選択、提案できるようになることである。まさに目からウロコの MGD 診療 Update である。

## シラバス（1200字以内）

（必要性、意義）眼科一般外来において眼不定愁訴を強く訴えるマイボーム腺機能不全（以下、MGD）は眼科医が最も遭遇する頻度の高い疾患であるにも関わらず、失明に至らないことや症状と所見が乖離することから見過ごされやすい疾患だった。ドライアイの主因としてMGDが国際的に注目され、2011年にワークショップが開催されて以降、急速に新規の診断・治療法が開発された。今回のコースでは、MGDを客観的に再現性高く診断する方法、MGDの基本的治療から世界最先端の治療まで本邦での使用経験を交え、多くの写真や動画を用い、受講者に、”MGD診療・Update”についてお話させていただく予定である。具体的には、診断では①スリットランプ所見②マイボグラフィ③インターフェロメトリー、治療では①温罨法・眼瞼清拭②マイボーム腺脂圧出③点眼（アジスロマイシン点眼を含む）・内服・サプリメント④医療機器を用いた治療（IPL, LipiFlow）について適応症例の選択・施行時のコツをご紹介する予定である。

### （分担）

- ① **Overview** : MGDの診断・治療の変遷（担当:有田玲子 8分+質疑応答 2分）
- ② 診断基礎（スリットランプ所見）（担当:有田玲子 5分+質疑応答 2分）
- ③ 診断応用（マイボグラフィとインターフェロメトリー）（担当:福岡詩麻 8分+質疑応答 3分）
- ④ 治療基礎（温罨法・眼瞼清拭）（担当:川島素子 8分+質疑応答 3分）
- ⑤ マイボーム腺脂圧出（担当:白川理香 8分+質疑応答 3分）
- ⑥ 点眼・内服・食事・サプリメント（担当:高静花 10分+質疑応答 3分）
- ⑦ 医療機器を用いた最先端の治療法（担当:溝口尚則 9分+質疑応答 3分）
- ⑧ まとめと全体質疑応答（15分）

### （得られる結果、達成目標）

MGDは一般臨床において最も遭遇する頻度の高い疾患のひとつである。しかし、客観的で再現性の高い診断法や特効薬がなかった。しかし、2011年に国際ドライアイ研究会（TFOS）がワークショップを開催して以来、診断・治療法が飛躍的に進歩した。従来からその有用性が高く評価されていた温罨法や眼瞼清拭、マイボーム腺脂圧出は数々のエビデンスが報告され、MGDのメカニズムから考える慢性の感染や炎症に対する抗炎症をねらった抗菌薬点眼や内服、食品やサプリメントも具体的な治療ストラテジーが提唱されている。本邦でも2019年に保険収載されたアジスロマイシン点眼液はMGDに有効な治療法のひとつとして国際的に高く評価されており、今回のICでも本邦における処方と適応について解説する。さらに、最新の治療法としてTFOSのドライアイ最新治療にも掲載されている医療機

器（Thermal pulsation system、Intense Pulsed Light）の安全性と有効性についても本邦での治療効果を紹介する。本 IC では具体的な症例（写真、動画、文献など）を供覧しながら実践的な MGD 診療戦略を解説する。本インストラクションの達成目標は MGD 診療をご理解いただき、得られる結果として「明日からの臨床に早速実践できる」内容をお届けすることである。